

労働法制改革阻止に向け 日比谷野外音楽堂に結集！

政府が進める「働かせ方改悪」の阻止に向けて、思いを共有したコミュニティユニオン全国ネットワークに加入するユニオンを始め、各地の労働組合がそれぞれに呼びかけてつながることで4月20日から北海道と沖縄からスタートした全国キャラバン。全国各地で多くの仲間が街頭に立ち、各地の労働局に要請を行ななどして取り組みました。全国ユニオンでも鈴木会長も鳥取に出向くなどして、この運動にかかわっています。キャラバンの最終の結集地点は、5月22日に日本労働弁護団主催で日比谷野外音楽堂で開催される集会と国会請願デモを実施しました。

またこの日は、過労死を考える家族の会が、働かせ方改悪最大の問題で長時間労働を助長する高度プロフェッショナル制度の導入に反対し首相官邸前で座り込みを実施。全国ユニオンも支援しました。

日比谷野外音楽堂での集会には1800人が参加。ユニオン三重、山梨ユニオンからも参加しました。

政府は5月25日、働き方改革法案を衆議院厚生労働委員会で強行採決。同月31日に衆議院本会議で可決・成立させました。今後は、議論の場を参議院に移します。引き続き、改悪阻止に向けた運動を展開していきましょう！

(写真は、首相官邸前での座り込みと日比谷集会で発言する「過労死を考える家族の会」)

